

令和5年度 都城市立丸野小学校 学校運営協議会委員評価書

学校の教育目標		「丸野愛」一人一人を大切に思い、行動する心と体、丸野への郷土愛を育む学校							
学校経営のキーワード		A(明るく:元気な証)・T(楽しく:やる気の証)・M(前向きに:幸せの証)そして、B(美しく:美しい心、美しい人、美しい学校にしていく)そして、感謝 ATM+B&感謝を合言葉に、共通理解・共通実践を目指す					【評価の基準】 3.6以上～4.0 期待以上 3.2以上～3.6未満 期待通り 2.4以上～3.2未満 やや期待を下回る 2.4未満 改善を要する		
めざす児童像		(知)基礎・基本を身に付け、解き方や学習方法を知り、言葉を大切にしながら、解や納得解を表現し活用できる児童 (徳)目標をもち、礼儀と規範、感謝を大切にしながら、自信と自尊心を育み、共感し、支え高め合う児童 (体)時を意識した基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健康で安全な生活のできるたくましい児童 (愛)不易と流行に対応できる、地域・家庭・学校が一体となった、丸野愛を育む学び、働きやすい教育環境づくり							
評価項目 (重点目標)	手段・ゴールイメージ	評価結果(平均値)			成果・課題等	学校運営協議会委員の評価		総合評価 (平均値)	分析および改善策
		職員	保護者	児童		評価	意見等		
【知育】 わかる・できるの実現と基礎 学力の向上を図る	1)ICTを活用した授業改善により、授業力向上が図られている	3.7	3.4	3.8	学年の発達段階に応じて、十分に活用が成されている。	3.9	○5年生の授業は素晴らしいと思います。先生だけの一方通行ではなく、クラス全員で、授業を作っていると思います。	3.7	概ね満足の評価。 ICT活用に関しては、市内でも先進的な取組ができており、今後も継続して取り組んでいく。学力向上に関しては、学力の二極化傾向があり、下位の児童への手立てが必要である。そのため、今年度からの取組である「マルチ」「ケテぶれ」を継続し、基礎的基本的な内容の定着を図っていく。また、児童主体の授業づくりの推進を行い、児童が主体的に学ぶとともに、個々の児童の個別最適な学びにつながるよう取り組んでいきたい。
	2)わかる・できる授業が行われ、学力向上につながっている	3.3	3.5	3.4	児童が主体となって学ぶ授業への転換を進めてきた。今後もさらに推進する。	3.9	○5年生の授業「ケテぶれ」の様子を見せていただいたときに、児童同士で学び合っている！そんな光景に驚きました。5年生から他の学年にも広がっていき、今以上に素晴らしい学校になっていくのではないかと思います。	3.5	
	3)児童に読み・書き・計算の力がついている	2.9	3.0	3.4	個人差が大きく、基礎基本の定着が不十分な児童への手立てが今後の課題。	3.3	○先生と児童が一体となり、わからない児童には、分かるまで指導されていると思った。	3.2	
	4)家庭学習の充実と習慣化が家庭と連携して図られている	3.1	3.2	3.5	本年度始めた「ケテぶれ」による家庭学習の充実を今後も推進していく。	3.2		3.2	
	5)読書活動の推進が図られている	3.2	2.7	3.0	目標とする読書冊数は達成している。読書の量だけでなく質の向上に努める。	4.0		3.2	
【徳育】 生徒指導の徹底を通して豊かな人間性	6)児童は、あいさつや返事がよくできている	3.1	3.2	3.6	概ね自己評価は高いが、個人差や学年差が見られるため、今後も手立てが必要。	3.6	○自殺者が増えている話を聞きます。命の授業は子ども達に命の大切さを教えるのとして、とても良かったと思います。	3.4	概ね満足の評価。 児童の自己評価は高いが、教師による評価は低めであり、教師と児童の課題意識に差がある。児童自身が自分事として意識するような手立てが必要である。
	7)児童は、決まりや約束をよく守っている	3.0	3.4	3.7	ほとんどの児童はよく守っている。きまりの意味や意義を理解させる指導を充実したい。	3.7	○児童クラブまるのの児童の様子から、人を思いやる気持ちをもち友達同士がかわっている姿が見られます。また、笑顔もたくさん見られています。	3.4	規範意識や思いやりの心を育てるため、道徳教育や家庭との連携など、とれる手立てを的確に行っていく。
	8)様々な体験活動を通して自主性や協調性が育っている	2.8	3.1	3.4	個人差大。児童一人ひとりの特徴等を考慮し、適切な機会を与え成長を促す指導に努める。	3.9	●少し気になるのは、登校時あいさつでも元気なあいさつが返ってこないことがあります。朝なのでテンション低めなのかなあ？とは思っています。	3.3	きまりについては、昨今の校則の取扱に関する状況も踏まえ、きまりのあり方について児童もかかわりながら見直しを行っていく。
	9)児童の自己肯定感や自己有用感が育っている	3.2	3.3	3.4	ごく一部、気になる児童がいる。自信をもてるような学習や体験を推進したい。	3.4	○人にやさしく、親切心を育て、困った人には声掛けをする気持ちが育ち、落ち着いた学びの姿が見受けられると思います。先生方の熱心な個々々路の教育がなされている賜物ではないと思います。子ども達の挨拶も素晴らしいと思います。	3.3	
	10)児童の豊かな感性と思いやりの心が育っている	2.9	3.4	3.5	素直な反応を示す児童が多い反面、感情や感覚を言語化して表現することが苦手。要検討。	3.7		3.4	
	11)児童は、自転車の乗り方など生活のきまりを守って行動している	3.0	3.4	3.9	概ね良好である。一部児童について個別に指導する必要がある。	3.7		3.5	
【体育】 健康安全教育の徹底を通して体力の向上を図る	12)児童は、自らの命を守る態度が育っている	3.0	3.5	3.9	概ね良好である。一部児童について個別に指導が必要。日常的な指導を積み重ねたい。	3.9	○登下校の様子は、交通ルールを守っていると思います。	3.6	概ね満足の評価。 感染症予防については、早めに休み受診するなど、積極的な流行防止への協力もあり、学校内での大きな流行はみられなかった。児童の自己評価が高いのに対し、教師の評価が低い傾向が全体に見られる。ゲームやインターネットなど、生活リズムを見出し勝ちであるが、一方で必要なものでもあることを考慮し、健康安全を保ちながら楽しむような生活習慣づくりについて、家庭への情報提供や啓発を行っていく。そのために、現代の生活スタイルに合った取り組みやすい形で実施へ転換していく。
	13)体力向上の取組がなされ、児童の体力がついている	2.8	3.1	3.4	体育科指導を中心に共通実践をしている。体力テスト結果からさらに体力向上を目指す。	3.3	○児童はみんな生き生きとした態度や行動が見られます。運動会もこのびのびといっしょうけめい取り組んでいました。先生方が協議の内容を考えて御指導され、素晴らしい運動会であったと思感動しました。	3.1	
	14)保護者と連携し、基本的な生活習慣の定着が図られている	2.9	3.1	3.6	協力的な保護者が多く取組も良好である。生活リズムが乱れがちな児童への支援を工夫する。	3.4	○保健面も指導徹底されているようで素晴らしいと思います。	3.3	
	15)食育の推進が図られている	2.9	3.1	3.7	弁当の日を実施。家庭がより意識し、無理なく取り組めるように協議・推進する。	3.8		3.4	
	16)むし歯の治療率向上が図られている	2.7	3.0	3.7	2回の治療勧告を実施。7割程度治療率。保護者の意識高揚、情報提供等を推進する。	3.7		3.3	
【ふるさと教育】 丸野に学び、丸野を愛し、ふるさとに貢献できる人材育成を図る	17)地域人材や素材を活用した授業を積極的にやっている	3.3	3.2	3.7	多くの協力を得た。新規の人材もあった。地域の人を知る良い機会であり継続する。	3.9	○地域と学校がとても良く連携が取れている様に思います。地域の人材を活用した授業、行事で、子ども達も楽しく活動出来ているのかなと思いました。	3.5	概ね満足の評価。 ふるさとに関心をもち、誇りに思う児童の育成について、地域のひとものことを積極的に取り上げた取組を推進していく。また、学校の取組をホームページを中心に積極的に発信するとともに、メディアによるアピールも継続していきたい。
	18)児童は、ふるさとに関心をもち、誇りに思っている	2.8	2.9	3.5	総合的な学習の時間に地域の史跡等について知る活動により、興味関心は高まっている。	3.6	○「丸野愛」という言葉をかかげ、子ども達にも十分ふるさと、この地区への郷土愛が育まれていると感じています。	3.2	
	19)学校や学習の様子を、家庭や地域に積極的に発信している	3.6	3.4	2.9	ホームページ(更新は校長)で積極的に発信している。	3.9	●ふれあい活動は人員確保が課題だと思います。	3.4	
	20)学校運営協議会と連携し、ふるさと教育を推進している	3.3	3.5	／	各種行事への地域住民の参加がありがたい。	4.0	●1、2年生の「さつまも体験」も「まるのキンダーガーデン」とこの連携した計画もあります。	3.6	